平成２８年３月１０日

保護者の皆様

豊能町立吉川中学校
校長　淺井　隆志

学校教育自己診断ｱﾝｹｰﾄ集計結果と分析について

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。
平素は本校の教育活動にご理解とご協力をたまわりまして誠にありがとうございます。
さて、標題のことにつきまして、下記のとおり報告させていただきます。
なお、この結果に基づいて行われました学校関係者評価について、学校 HP にて報告させていただきますので、併せてご査証いただきますようよろしくお願いいたします。ｱﾝｹｰﾄや学校関係者評価でいただきましたお声については、今後の学校運営に活かすよう努めてまいります。
ｱﾝｹｰﾄへのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

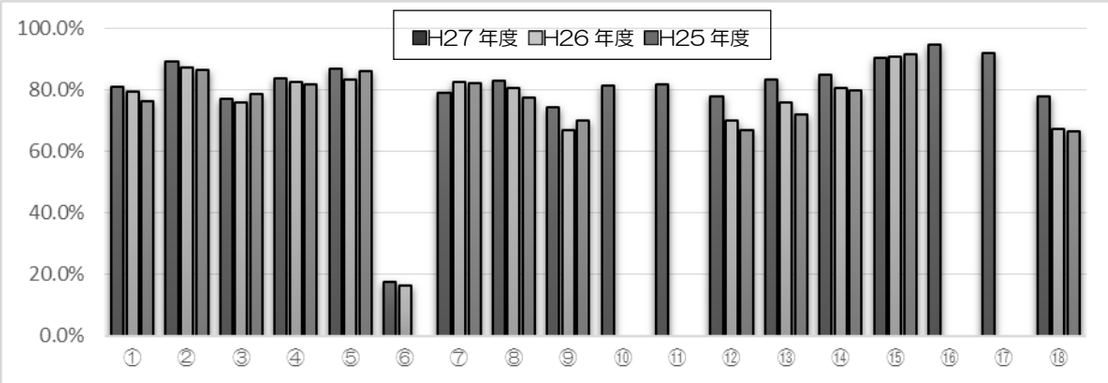
記

○　保護者ｱﾝｹｰﾄ結果について

◆質問項目
①学校は教育方針や教育活動の具体策を分かりやすく伝えている。
②学校は、「学校だより」を始め、いろいろな「通信」やＨＰ等で、学校の情報発信や家庭への連絡・情報提供を行っている。
③学校から発信された情報は子どもを通じて保護者のもとに届いている。（印刷物等）
④子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。
⑤学校は、挨拶などの生活規律や学習規律など、基本的な生活習慣の確立に力を入れている。
⑥子どもは中学校での給食が適切なものであると感じている。
⑦学校は命の大切さや社会のルールの大切さ、人権の大切さなどの感性を育もうとしている。
⑧学校は支援教育の充実に努めている。
⑨学校は、いじめなど生徒が困っていることに耳を傾け、対応しようとしている。
⑩学校は設備・施設の安全管理を適切に行っている。
⑪学校は生徒の健康管理に努めようとしている。
⑫学校は少人数授業やきめ細やかな指導など、わかりやすい授業の工夫・研究に努めている。
⑬学校は、放課後まなび舎教室・家庭学習計画表・補習などを通じて、自学自習力の向上に努めている。
⑭学校は読書活動に力を入れている。
⑮学校は合唱発表会・体育大会などの学校行事に、生徒が前向きに取り組むよう指導している。
⑯家庭では、子どもとふれあう時間をつくろうとしている。
⑰家庭では、進路について相談することを大切にしている。
⑱学校は地域人材（部活動の外部コーチ、学習アドバイザー、ボランティア、その他）の活用に努めている。

◆集計結果の比較（「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定的回答をされた数の割合を過去２年間と比較）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
H27年度	81.0%	89.5%	76.9%	83.8%	86.8%	17.4%	79.0%	83.2%	74.5%
H26年度	79.3%	87.2%	76.1%	82.5%	83.3%	16.4%	82.7%	80.6%	67.1%
H25年度	76.5%	86.5%	78.9%	81.7%	86.3%		82.2%	77.5%	70.2%
	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
H27年度	81.3%	81.7%	77.8%	83.4%	84.8%	90.4%	94.6%	92.2%	77.9%
H26年度			70.0%	76.1%	80.7%	91.0%			67.4%
H25年度			67.1%	72.1%	79.7%	91.7%			66.5%

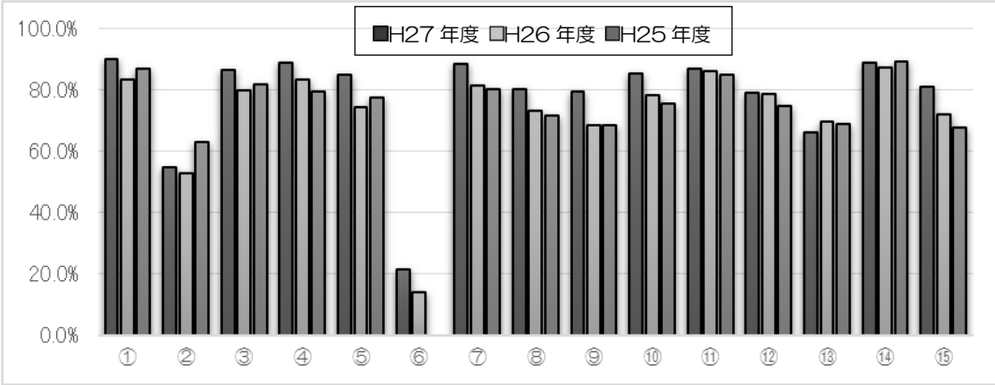


○　生徒ｱﾝｹｰﾄ結果について

◆質問項目
①学校は、「学校だより」「学年だより」「学級通信」「進路通信」などを通じて情報を発信している。
②あなたは「学校だより」「学年だより」「学級通信」「進路通信」などを読んでいる。
③学校へ行くのが楽しい。
④先生たちは、生活規律や学習規律など、基本的な生活習慣の確立に力を入れている。
⑤あいさつは、自分としてはできていると思う。
⑥中学校での給食は、適当な量と質であると思っている。
⑦学校は、命の大切さ、社会のルールの大切さ、人権の大切さなどについて学んだり考えたりできるよう、指導している。
⑧先生は、いじめなど、悩みや困っていることについて対応しようとしている。
⑨学校は授業をわかりやすく楽しくしようとしている。
⑩少人数授業は分かりやすい。
⑪朝の読書は、落ち着いて読書のできる時間となっている。
⑫学校行事は、みんなが楽しく取り組めるように工夫してある。
⑬将来の夢や目標を持っている。
⑭人の役に立ちたいと思う。
⑮先生は、将来の夢や目標について考える機会をつくっている。

◆集計結果の比較（「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定的回答をされた数の割合を過去２年間と比較）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
H27年度	90.0%	55.0%	86.7%	89.1%	85.0%	21.5%	88.4%	80.4%	79.4%	85.3%	86.9%	79.1%	66.4%	89.0%	81.3%
H26年度	83.4%	53.1%	79.9%	83.4%	74.5%	14.0%	81.3%	73.4%	68.5%	78.4%	86.2%	78.6%	69.6%	87.4%	72.1%
H25年度	87.1%	62.9%	81.8%	79.5%	77.6%		80.3%	71.5%	68.5%	75.5%	85.2%	74.8%	69.0%	89.3%	67.7%



○　保護者自由記述について

	分類項目	H27年度	H26年度	H25年度
1	学校の方針･重点目標に関すること	0	0	0
2	授業指導･少人数指導に関すること	0	1	4
3	学力向上、補充学習、塾に関すること	3	2	5
4	先生の指導や態度･熱意等に関すること	1	2	5
5	生徒の気持ち等に関すること	0	0	0
6	先生と生徒の関係に関すること	0	0	1
7	いじめに関すること	1	1	2
8	不登校に関すること	0	0	1
9	学校生活･生徒指導に関すること	4	2	3
10	クラブ活動に関すること	2	0	7
11	進路指導･情報配信に関すること	0	0	3
12	学校の全般情報配信に関すること	1	0	1
13	地域人材やボランティアの活用に関すること	0	0	0
14	PTA活動に関すること	0	0	0
15	家庭教育、地域連携に関すること	0	0	1
16	教科指導に関すること	3	1	0
17	道徳教育に関すること	0	0	0
18	豊かな心･生きる力の育成に関すること	2	0	0
19	図書館に関すること	0	0	0
20	学校･教職員への感謝･励ましに関すること	7	1	4
21	学校施設に関すること	0	1	1
22	学校給食に関すること	9	0	2
23	絶対評価に関すること	0	0	1
24	土曜授業に関すること	0	0	1
25	携帯･ｽﾏﾎに関すること	13	12	－
26	その他学校外に関すること	0	0	1
27	その他	0	0	0
	合計	46	23	43

○　分析

◆保護者自由記述について

保護者の皆様から、叱咤激励や感謝の言葉、さらなる改善を期待されるご意見を多数いただきありがとうございました。説明や聞き取りが必要と思われるご意見には学校から連絡をさせていただき、ご理解をいただけたと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

◆学校からの情報発信について（保護者ｱﾝｹｰﾄ①②③　生徒ｱﾝｹｰﾄ①②）

「学校だより」やいろいろな通信を通じての学校からの情報発信については、保護者からも生徒からも概ね良好な評価をいただくことができた、と考えます。（保①②生①から）

しかし、通信等を「読んでいる」と答えている生徒の数は低くなるとともに、生徒を通じて保護者に手渡されている数も低くなっており、生徒の関心の低さがうかがえます。

これは、情報発信の対象が保護者と生徒の双方を対象にしていることが多い理由の１つと考えられます。よって、生徒対象の情報であるか、保護者対象の情報であるかを分かりやすくすることなどを考えていきたいと思います。

◆学習指導、安全・健康管理について（保護者ｱﾝｹｰﾄ⑥⑧⑩⑪⑫⑬⑭ 生徒ｱﾝｹｰﾄ⑨⑩⑪）

今年度は「学ぶ意欲を高める授業の創造 ～個々のつまずきに応じたきめ細やかな指導の充実～」を本校教職員の授業研究のテーマとして設定し、年間６回の研究授業を含め、授業研究に取り組んできました。保護者ｱﾝｹｰﾄ⑫、生徒ｱﾝｹｰﾄ⑨⑩で見られるような肯定的回答が上昇したことは、授業研究の成果が上がってきていると評価したいと思います。

給食に対する肯定的回答（保護者ｱﾝｹｰﾄ⑥ 生徒ｱﾝｹｰﾄ⑥）は昨年度より向上したとはいえ、非常に低い値です。抜本的な改革の必要性を感じながらも、学校でできることは限られています。今年度は食育に掲示板を設置したり、栄養技師が教科の学習とタイアップして授業を行いました。給食は成長期の生徒にとって非常に重要な役割を担っています。「食べたい」「食べよう」と思ったり考えたりする生徒が少しでも増えるよう、地道に取り組んでいきたいと思います。

保護者ｱﾝｹｰﾄ⑩⑪は今年度新たに設けた質問でした。危機管理の側面からも、学校施設・設備の安全点検を怠ることなく、また、健康指導も含めて生徒の健康管理を適切に実施し、安全で安心な学校生活が送られるよう努力していきます。

毎朝の読書活動を始め、読書活動の啓発は豊能町として力を入れていることです。中学生として読書に親しむことができるよう、小学校での取組の上に、中学校での取組を積み重ねていきたいと思います。

◆生活規律、生徒指導、給食指導について（保護者ｱﾝｹｰﾄ④⑤⑦⑨ 生徒ｱﾝｹｰﾄ③④⑤⑦⑧）

保護者ｱﾝｹｰﾄ⑤、生徒ｱﾝｹｰﾄ④⑤から、生活規律等についての指導が効果をあげていると考えます。今後もさらにていねいに指導を続けていきます。

なお、保護者ｱﾝｹｰﾄの中で「これは体罰ではないか？」という指摘があり、調査を行いましたが、体罰ではなかったというケースが１件ありました。（生徒ｱﾝｹｰﾄでは０件でした。）

保護者ｱﾝｹｰﾄ④⑨、生徒ｱﾝｹｰﾄ③⑦⑧が前年度、前々年度と比べて上昇し、かつ、８割を超える肯定的回答があったことは学校として大変喜ばしいことです。しかし、保護者ｱﾝｹｰﾄ⑦では前年度、前々年度より下降していることから、まだまだ指導が十分であるとは考えられません。学校生活では、日々何らかのトラブルが発生しますが、生徒が自らの力でトラブルを回避したり解決したりできる力を身につけてほしいと願って指導をしています。そのような力をつけるためには、命の大切さ、人権の大切さ、社会のルールの大切さを学ぶことは必要不可欠なことです。今後もあらゆる機会を通じて指導していきたいと思います。そして、その結果として「学校へ行くのが楽しい」と感じられる生徒が増えていくことをめざしていきます。

◆家庭での様子について（保護者ｱﾝｹｰﾄ⑯⑰）

今年度から新たに保護者ｱﾝｹｰﾄ⑯⑰の質問を加えました。各家庭の教育に対する意識の高さがうかがえます。学校が家庭での教育に役立つ情報提供ができるように努めていきたいと思います。

◆生徒の意識･学校行事について（保護者ｱﾝｹｰﾄ⑮⑱ 生徒ｱﾝｹｰﾄ⑫⑬⑭⑮）

生徒が「将来の夢や目標」をもつことや、「人の役に立つ人間になりたい」と思ったり考えたりするようになるには、学校行事などで、周囲の生徒と切磋琢磨しながら、困難なことに対しても意欲的に取り組み、成功体験を積んでいくことが大切であると考えます。

よって、今後も、地域の方々のお力をお借りしたりしながら、生徒が楽しく積極的に取り組むことができる学校行事を創造していきたいと思います。

以上、報告いたします。ｱﾝｹｰﾄへのご協力をいただき、誠にありがとうございました。